



Press Release

2013年7月25日

ダウ化工広報室

ダウ化工、今年も鹿沼市へ太陽光発電型 LED 外灯および図書を寄贈



写真左：ダウ化工社長 スポット・ケートブラカーン
写真中央：佐藤 信 鹿沼市長
写真右：なんま保育園に寄贈された LED 外灯

ダウ化工株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：スポット・ケートブラカーン）は、2005年より開始した栃木県鹿沼市への寄贈プログラムを今年も実施しました。2013年7月24日、ダウ化工社長のスポット・ケートブラカーンおよび鹿沼工場長の山田 道男が鹿沼市役所を訪問し、佐藤 信市長に寄贈目録を手渡しました。

2005年よりダウ化工は、鹿沼市役所を通じてダウの地域貢献を目指した寄贈プログラムを開始しました。同プログラムでは、太陽光発電型 LED 外灯および科学・化学関連図書の寄贈を実施しています。ダウ化工による鹿沼市への寄贈は、地域の環境保護・安全強化および次世代による科学・化学への関心向上を目的としています。

2013 年寄贈内容：

- 太陽光発電型 LED 外灯 5 基、総額 330 万円相当
寄贈先：粕尾保育園、いぬかい保育園、なんま保育園、ひなた保育園、加蘇児童館
(各 1 基)
- 科学・化学関連図書 (90 冊)、総額 20 万円相当
寄贈先：鹿沼市立図書館

ダウ化工は、米国の石油化学品メーカー、ダウ・ケミカルの子会社です。ダウ化工は、1972 年より鹿沼市で「スタイロフォーム™」住宅・ビル用断熱材の生産に従事しています。ダウ・ケミカルは、生産活動に従事する世界各地でさまざまな地域貢献活動を行っています。これらの活動は、「ダウ 2015 年持続性目標」の基本方針のひとつである「地域社会繁栄への貢献」を実践したものです。日本での活動は、自社工場所在地である地元地域の安全、環境保護および若い世代の科学への関心を高めることを目的に寄贈プログラムを続けています。

ダウ化工鹿沼工場長の山田 道男は、「息の長い寄贈プログラムを通じ、今後も微力ながら地域貢献に努めていく所存です。弊社工場では、現在、断熱材のフル生産が続いています。鹿沼市での生産活動を通じて、地元経済発展に向けても専念してまいります」と述べています。

®™ ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

ダウ化工広報室 沢登 (電話：03 5460 6276 メール：rsawanobori@dow.com)

ダウ・ケミカルは米国ミシガン州に本社を置く世界最大の石油化学品メーカーです。世界 160 カ国で事業活動を展開するダウの年間売り上げは約 570 億ドル、従業員数は 5 万 4 千人です。世界 36 カ国 188 カ所の製造拠点で、5 千を上回る製品の生産に従事しています。ダウ・ケミカルは 1973 年に東京証券所に上場した最初の外国企業です。www.dow.com